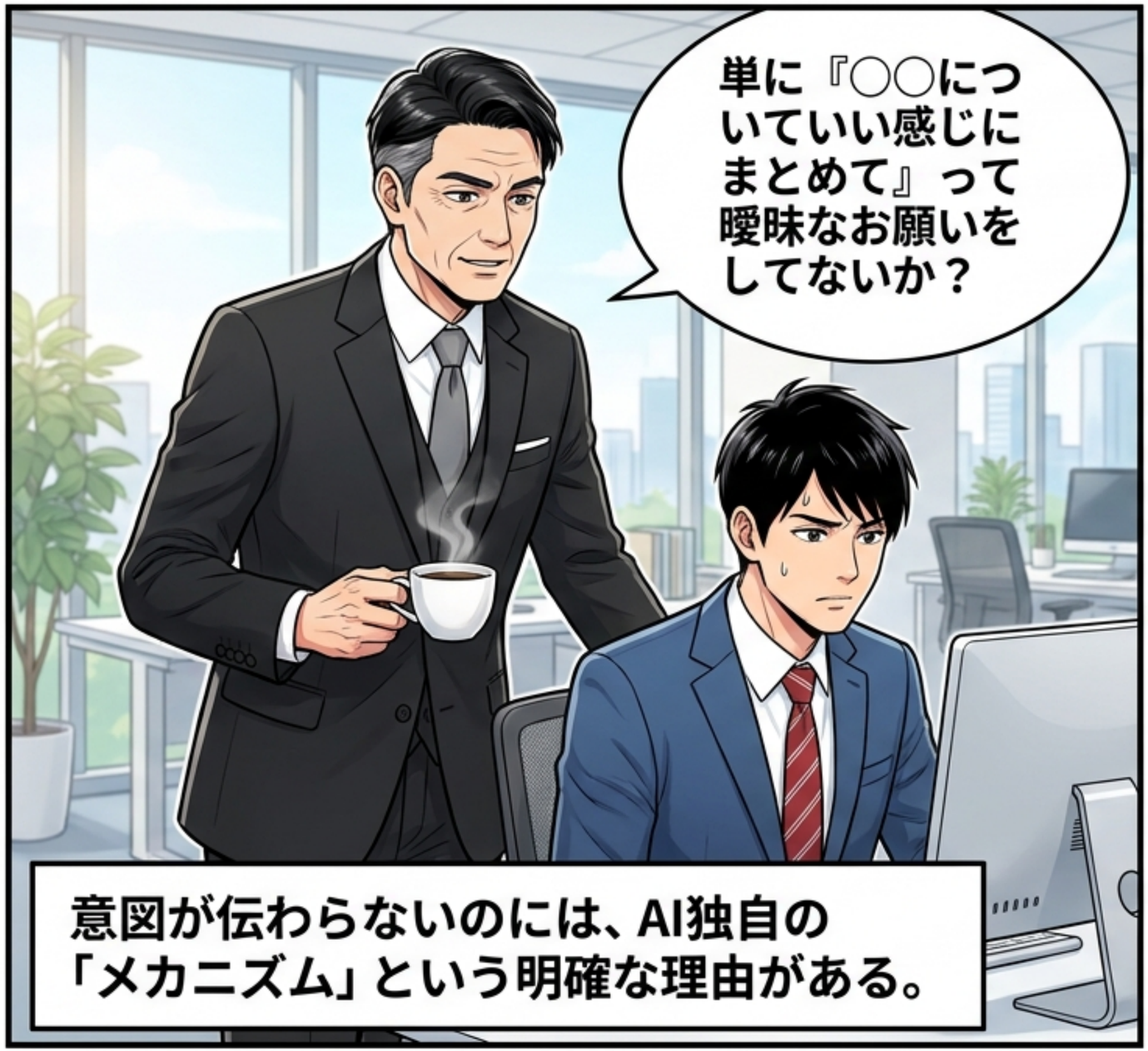
Claudeの精度が劇的に上がる！プロンプト上達のための操作手順書

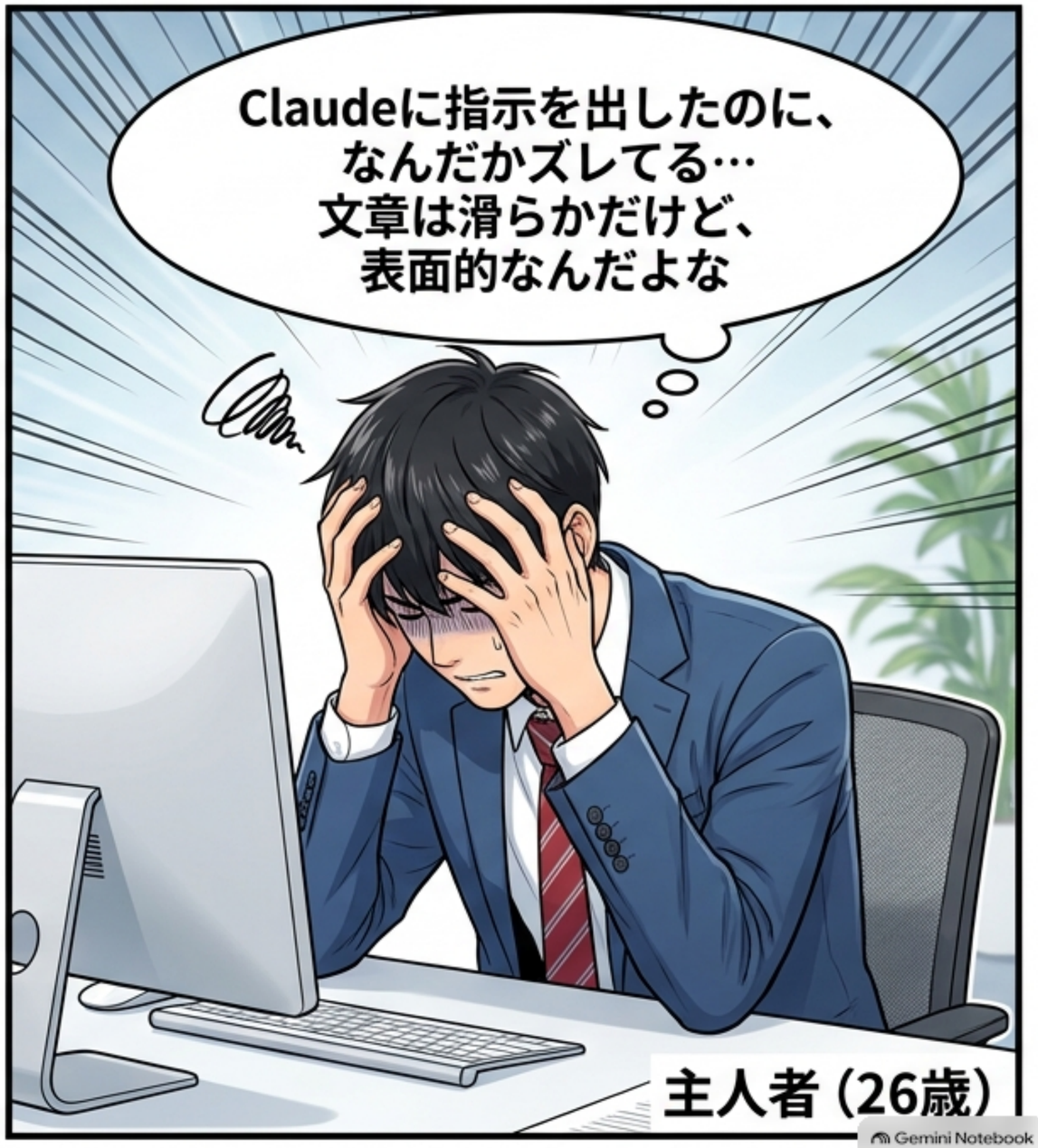
単なる自動回答ツールを「思考パートナー」に変える3つの法則



Gemini Notebook

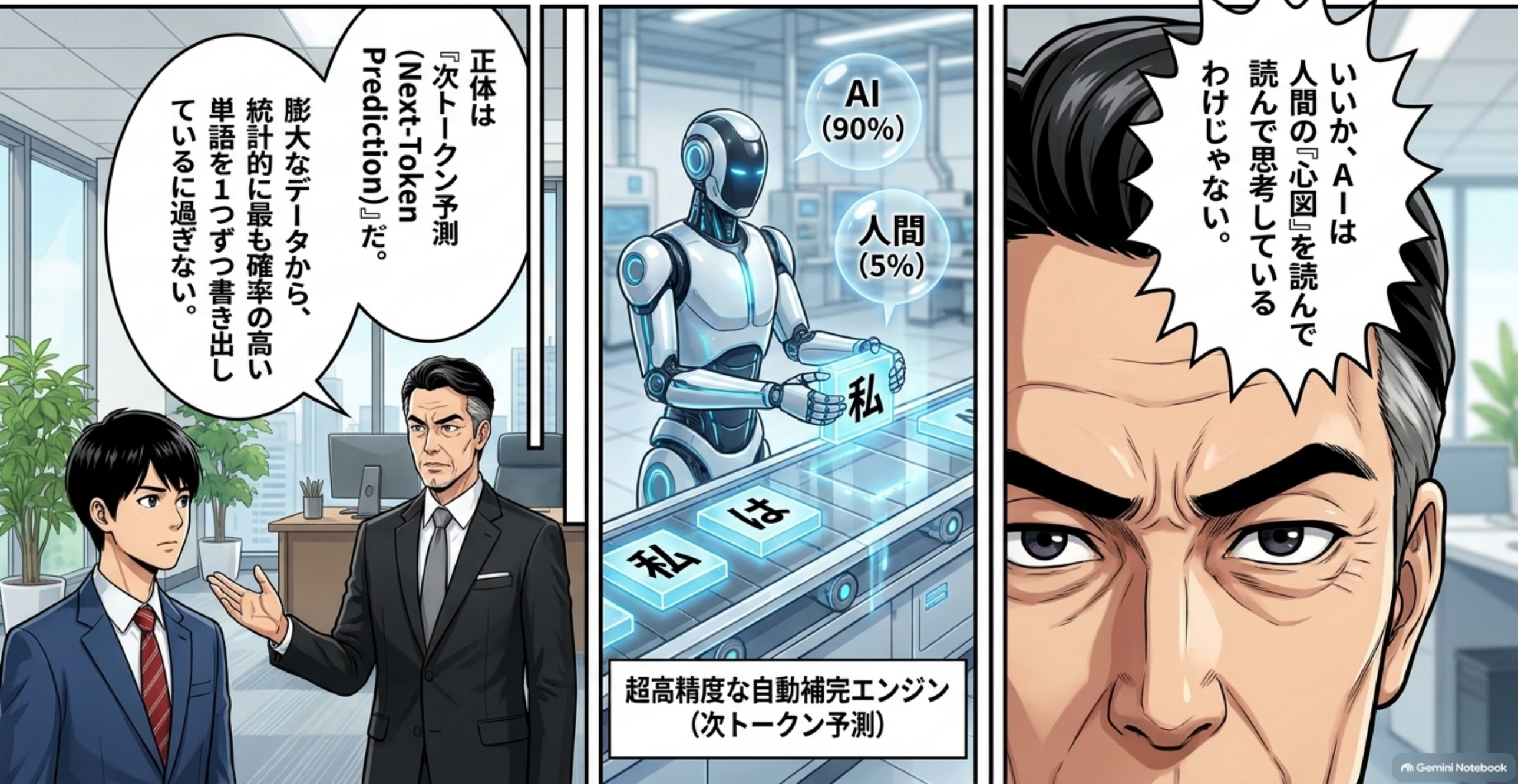
企業 人マンガガイドブック



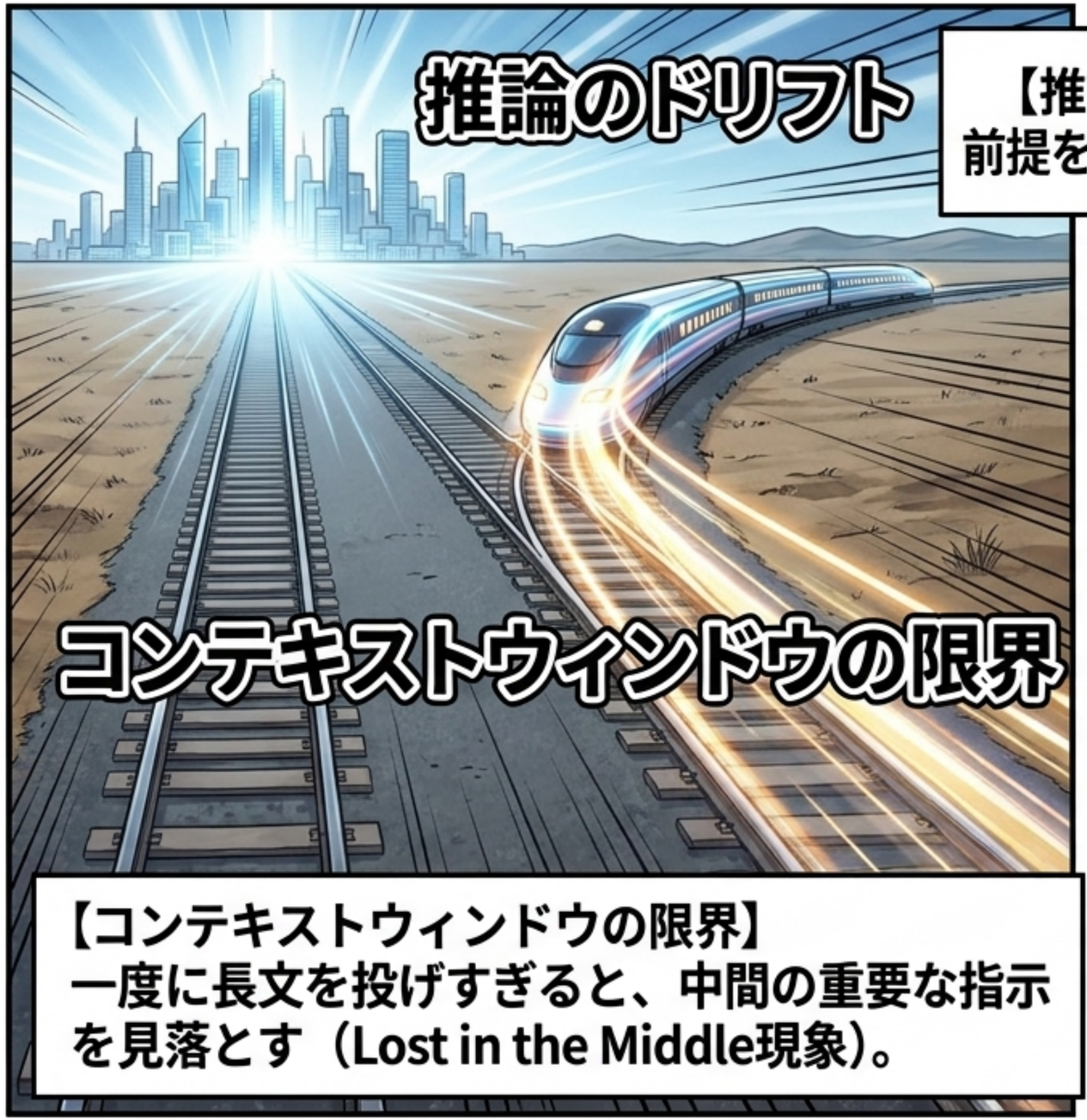


Gemini Notebook

企業マンガガイドブック



企業マンガガイドブック



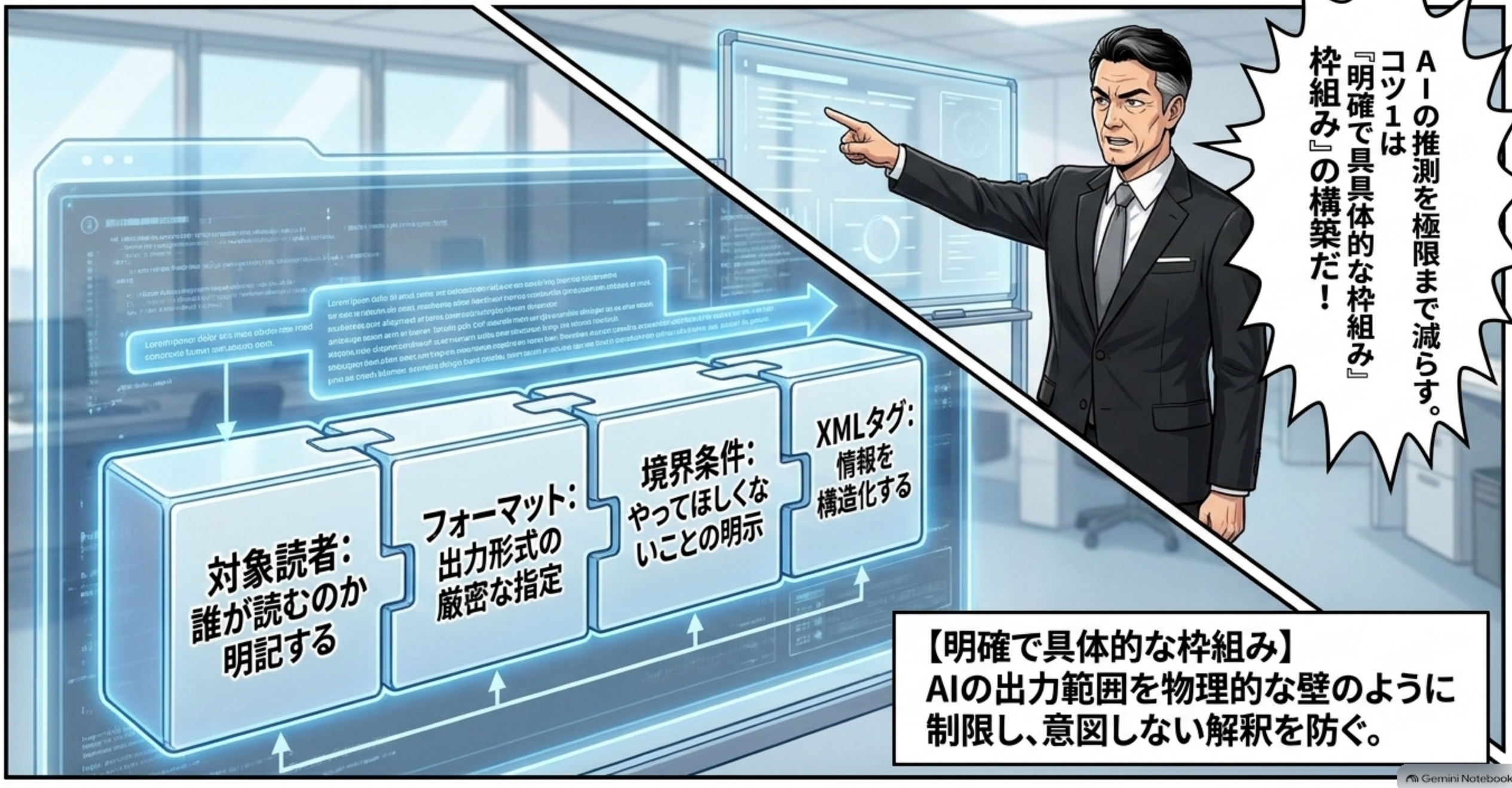
【推論のドリフト】AIはパターンの継続を優先する。
前提を省略すると、解釈の誤差が重なり目的から脱線する。



【コンテキストウィンドウの限界】
一度に長文を投げすぎると、中間の重要な指示を見落とす（Lost in the Middle現象）。

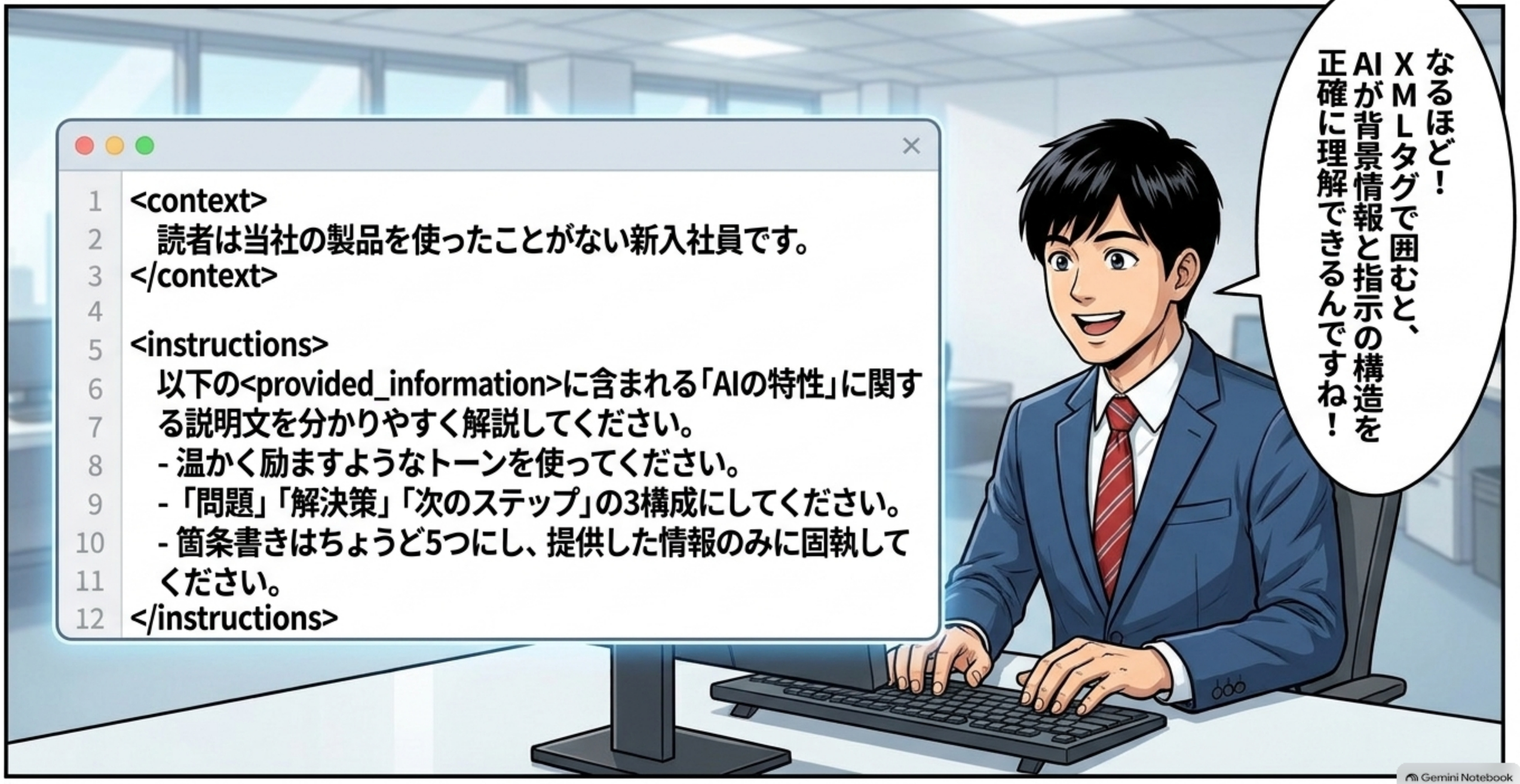
Gemini Notebook

企業マンガガイドブック



Gemini Notebook

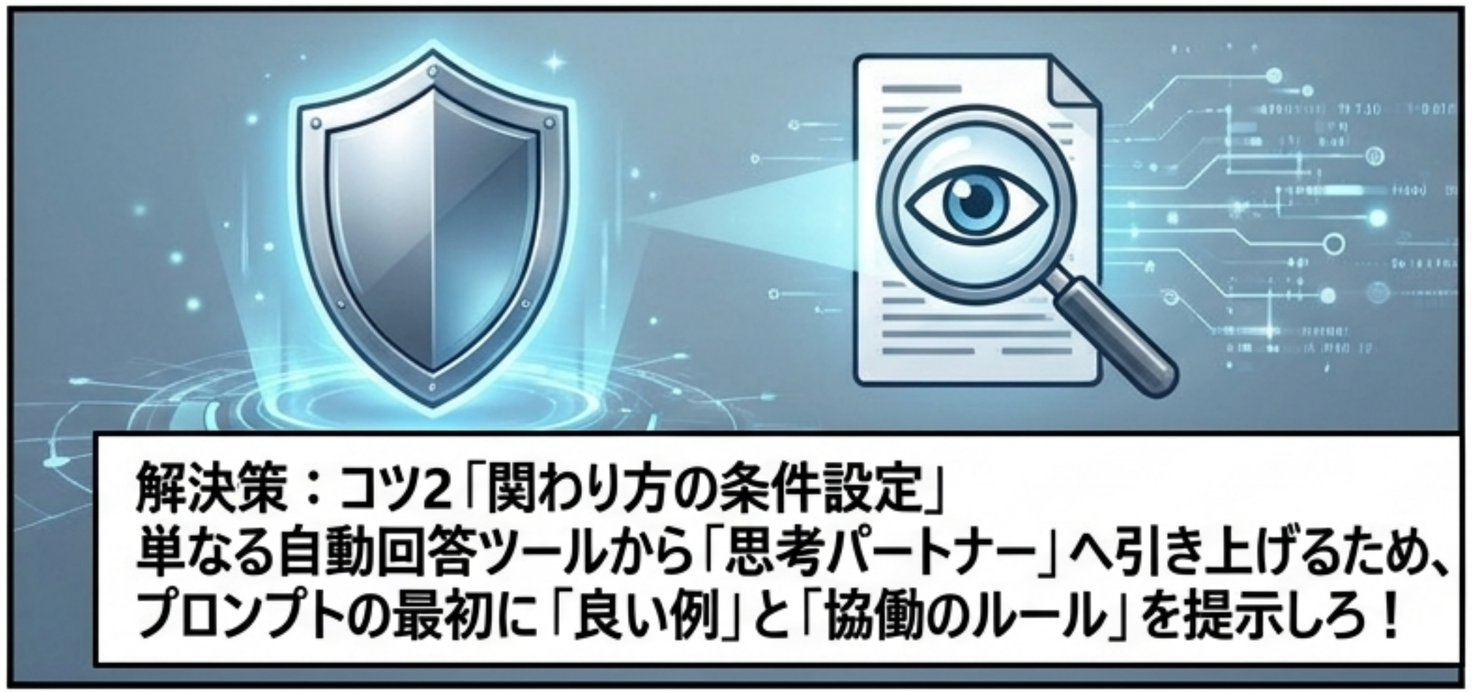
企業マンガガイドブック



企業マンガガイドブック







解決策：コツ2「関わり方の条件設定」
単なる自動回答ツールから「思考パートナー」へ引き上げるため、
プロンプトの最初に「良い例」と「協働のルール」を提示しろ！

Gemini Notebook

企業マンガガイドブック

GOOD: 思考パートナー化

「【関わり方の条件】
私におもねらず、前提に異議を唱えてください。すぐ答えず質問を返して。懐疑的なレビュアーとして振る舞ってください。」

「既存システムで解決できない課題は何ですか？導入コストの前提にギャップがあります。」



思考の拡張（Augmentation）

BAD: 追従性の罠

「この社内FAQ導入案、どう思う？」

「完璧なアイデアです！
素晴らしい着眼点ですね！」



思考停止（単なるおもねり）

Gemini Notebook


一発で終わらせるな。
Claude上級者の85.7%は
『反復と改善(Iteration)』
を行っている!
管理者
(50歳齢
一発で完璧な
答えが出ない時は
どうすれば…?
?
主な人
(26歳)
STEP 1
[記述]
指示を出す
STEP 2
[評価]
出力を吟味する
STEP 3
[反復]
修正・追質問する
反復を行うと「推論への疑問」行動
が非反復の5.6倍、フルエンシー行
動が平均2.67個(約2倍)増加する!
Gemini Notebook

企業マンガガイドブック

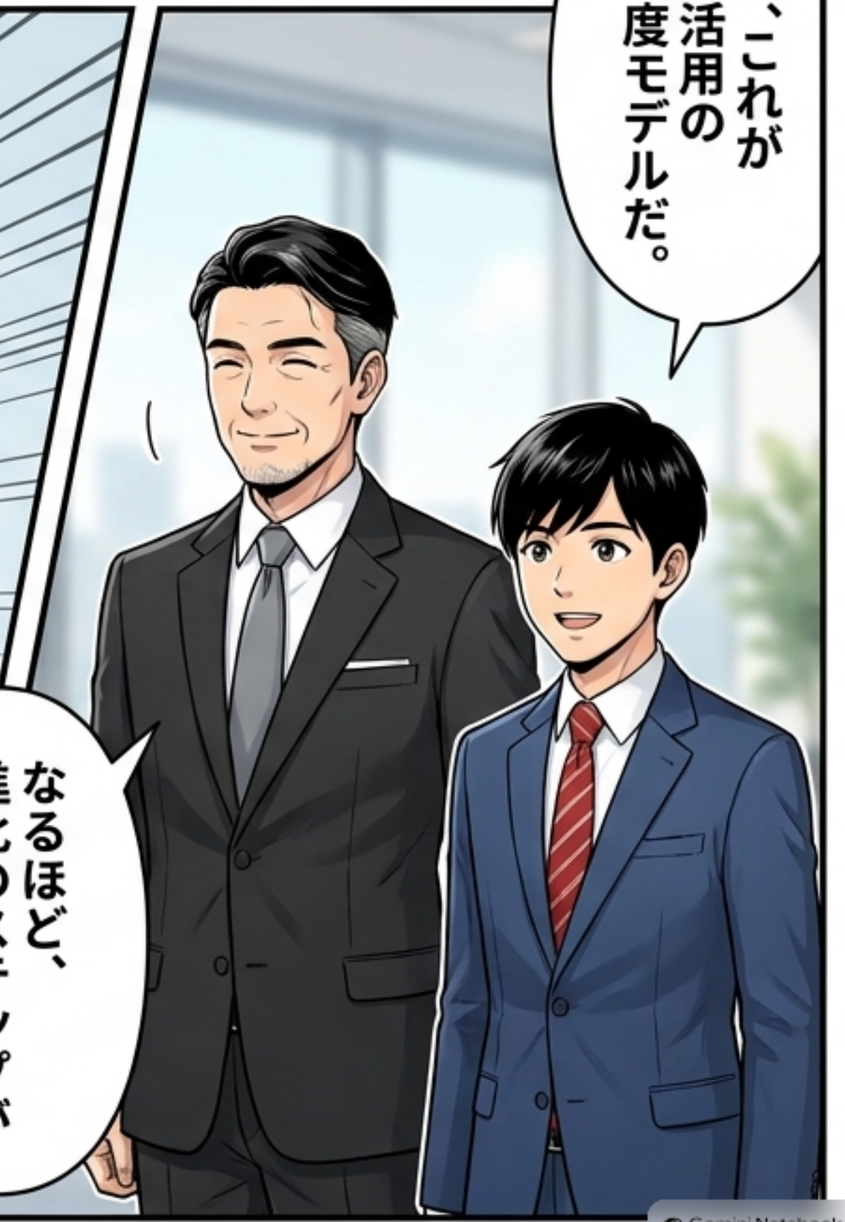


Gemini Notebook

企業マンガガイドブック

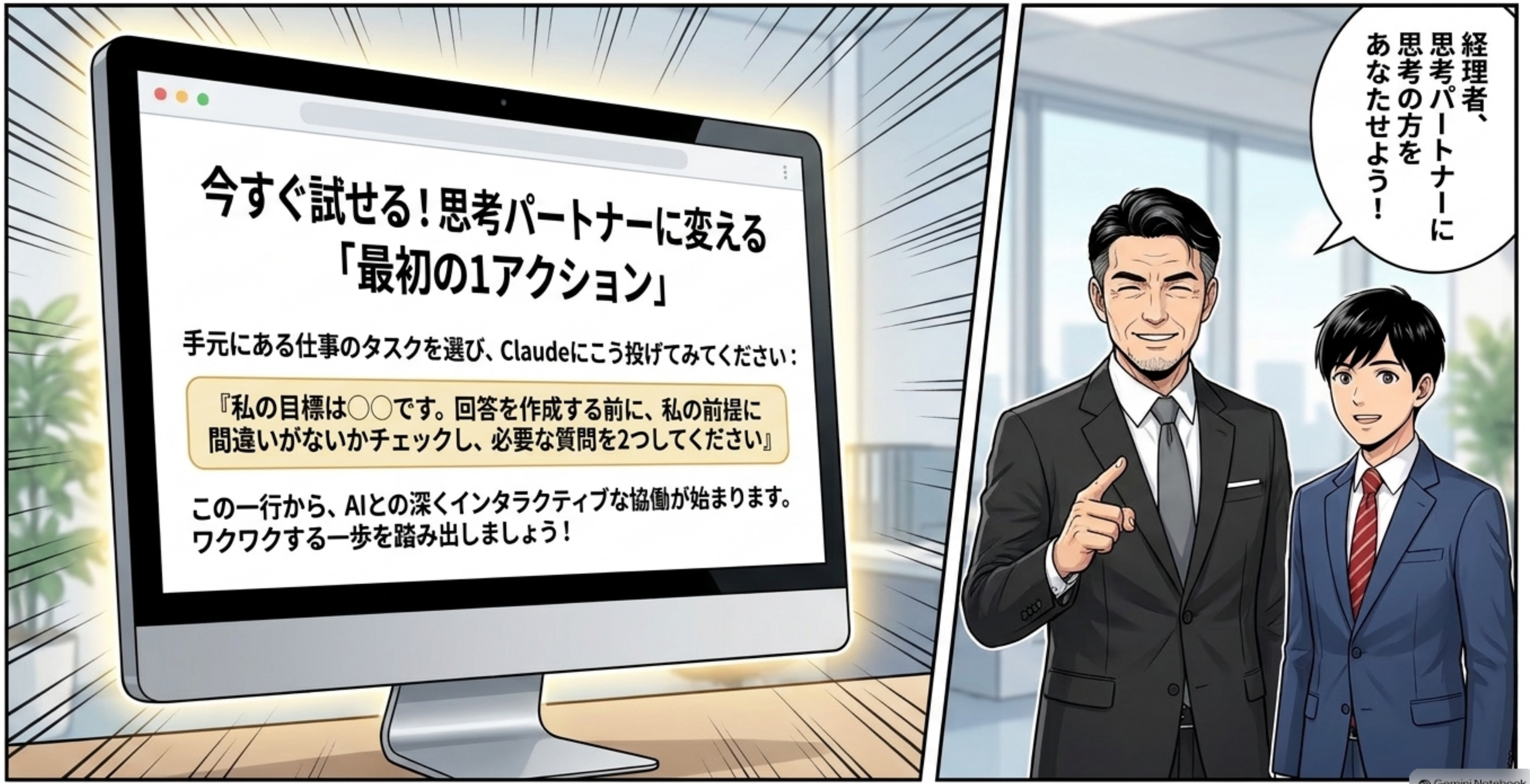
AI活用の進化

	方法	結果
Level 3：思考パートナー (Augmentation)	Tip 3 (反復と改善のループを回す)	人間の思考を拡張し、AIと議論しながら共に最高水準の成果物を創出
Level 2：優れたアシスタント (Assistant)	Tip 1 (枠組み・XML) + Tip 2 (役割と例示)	意図通りの高精度な出力 ハルシネーションの抑制
Level 1：自動回答ツール (Automation)	漠然とお願いするだけ	推論の脱線・おもねり 浅い回答



Gemini Notebook

企業マンガガイドブック



Gemini Notebook